

WASP DELUXE

Legendary Hybrid Synthesizer with Dual OSCs, Multi-Mode VCF,
16-Voice Poly Chain and Eurorack Format

JP

JP 安全にお使いいただく
ために**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なブ口用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブル およびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したものののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものののみをお使いください。

もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

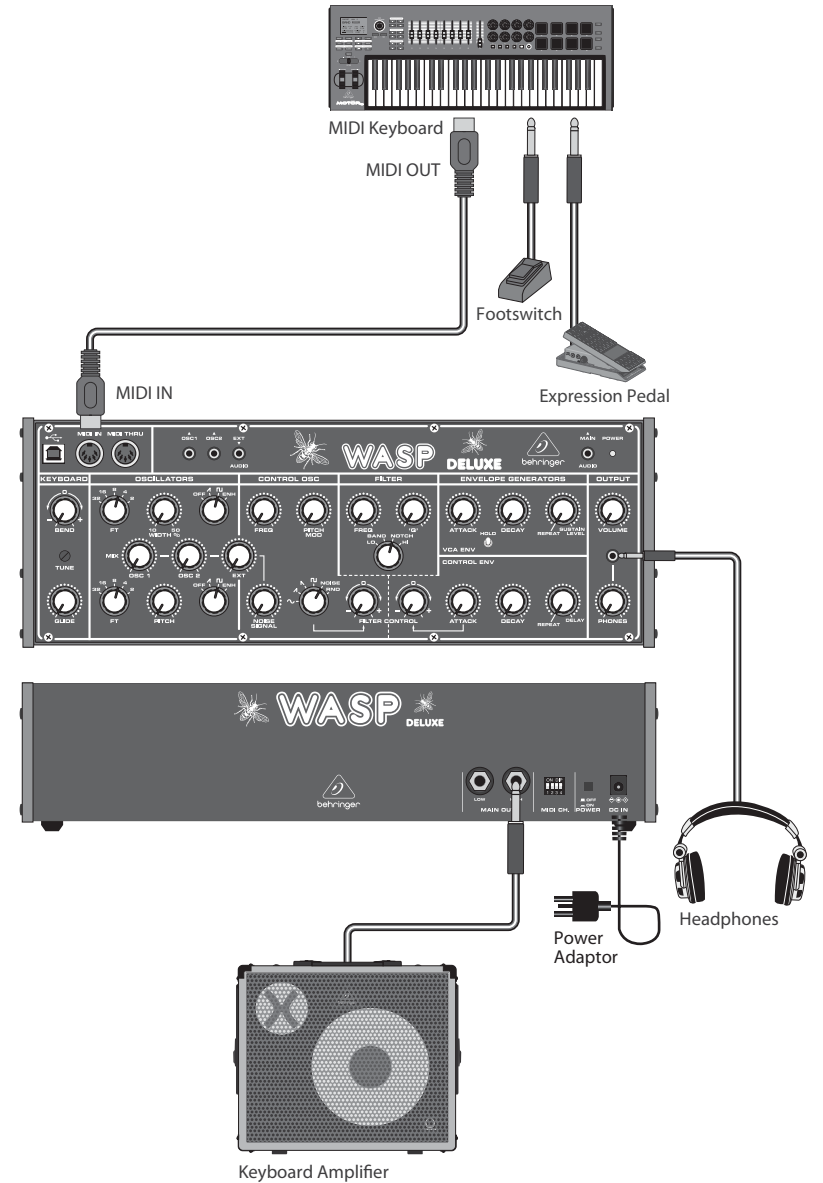
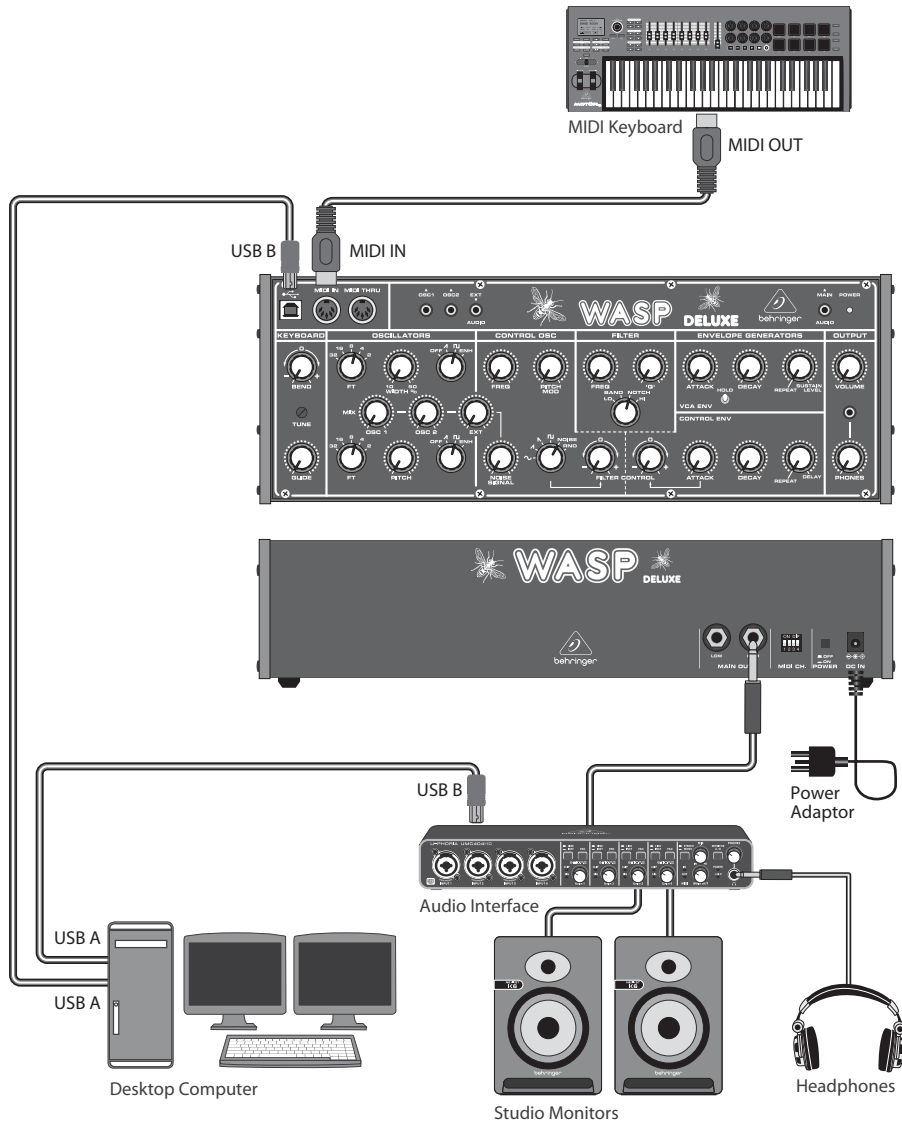
WASP DELUXE フックアップ

JP

ステップ 1: フックアップ

スタジオシステム

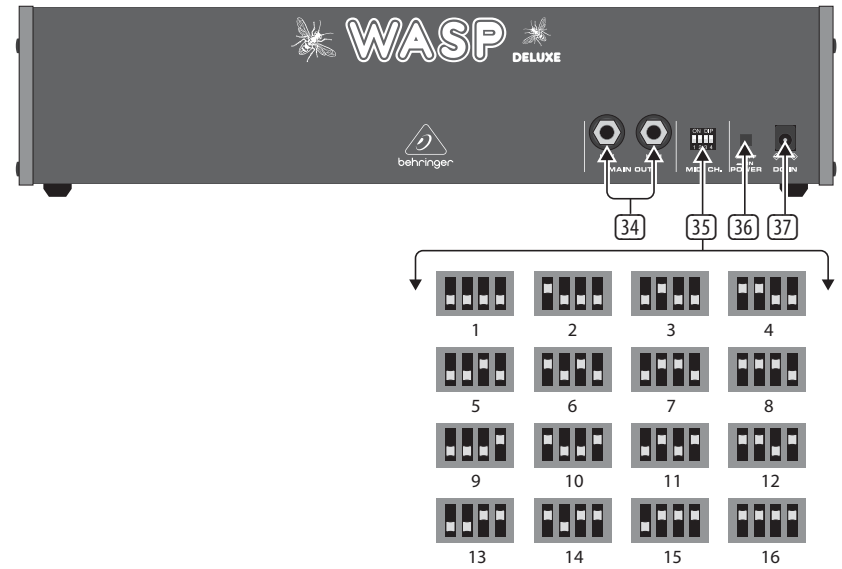
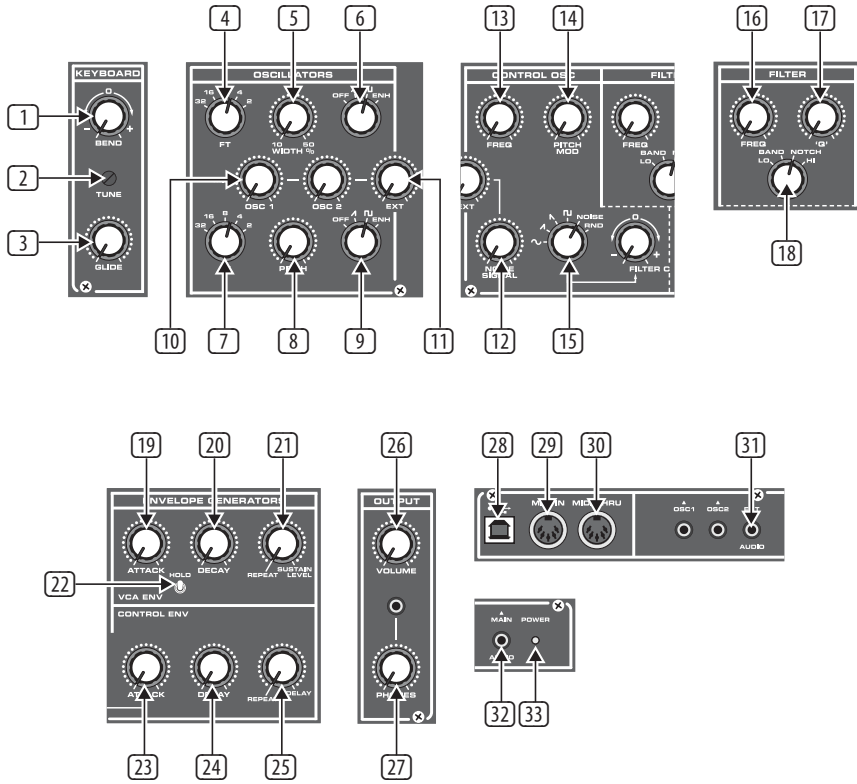
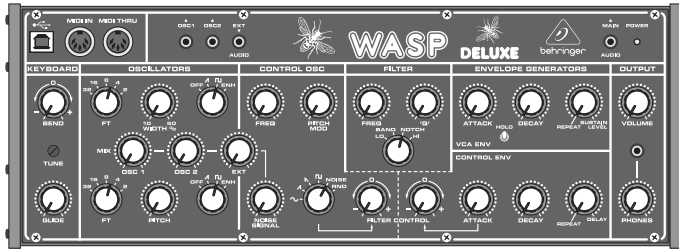
バンド/練習システム



WASP DELUXE コントロール

JP

ステップ 2: コントロール



WASP DELUXE コントロール

ステップ 2: コントロール

キーボード部

- ① **BEND (ベンド)** キーボードのピッチを上げる (時計回り) / 下げる (反時計回り) ノブです。
- ② **TUNE (チューン)** キーボードピッチを微調整するノブです。
- ③ **GLIDE (グライド)** ノートから別のノートへの変化のレートを制御します。ノブを時計回り方向に回すと、次のピッチへのシフトを減速します。

オシレーター部

- ④ **FT ノブ** 上部オシレーターのピッチを設定するノブです。
- ⑤ **WIDTH % (幅)** オシレーターのサウンドの幅を制御するノブです。
- ⑥ **波形ノブ** 上部オシレーターの波形のシェイプを制御します。OFF 設定では、発振器は閉じられます。左から 2 番目のセッティングでは“ノコギリ波”、その次は“矩形波”となります。ENH (エンハンス) 設定は、オシレーターのトーンにパンチやビット、明晰さを加えるエンハンサーとして機能します。
- ⑦ **FT ノブ** 下部オシレーターのピッチを設定するノブです。
- ⑧ **PITCH (ピッチ)** 上部オシレーター のピッチに対し、2 番目のオシレーターのピッチを調節し、モジュレーション効果を創出するノブです。
- ⑨ **波形ノブ** 下部オシレーターの波形のシェイプを制御します。OFF 設定では、発振器は閉じられます。左から 2 番目のセッティングでは“ノコギリ波”、その次は“矩形波”となります。ENH (エンハンス) 設定は、オシレーターのトーンにパンチやビット、明晰さを加えるエンハンサーとして機能します。

- ⑩ **MIX (ミックス部)** 上部および下部オシレーター (OSC 1 ノブ/ OSC 2 ノブ) の相対的なブレンド具合を調節します。
- ⑪ **EXT.** 外部オーディオジャックからのオーディオ信号とオシレーター信号をブレンドするノブです。

コントロールオシレーター部

このセクションのオシレーターは単体では音を発振しませんが、一次オシレーターおよびフィルターの制御に使用します。

- ⑫ **NOISE SIGNAL (ノイズシグナル)** ホワイトノイズを生成するノブです。ミックスしてパーカッションサウンドを作成します。
- ⑬ **FREQUENCY (周波数)** コントロールオシレーターのスピードを調節するノブです。
- ⑭ **PITCH MOD. (ピッチモジュレーション)** 一次オシレーター間のピッチの差異をさまざまに調節し、さらなるモジュレーション効果を創出します。
- ⑮ **波形スイッチ** 6 種類の設定を持つスイッチです：サイン波、上昇ノコギリ波、下降ノコギリ波、矩形波、NOISE (ノイズ) および RND. (ランダム)。

フィルター部

- ⑯ **FREQ. (周波数)** フィルターカットオフ周波数を設定するノブです。
- ⑰ **Q ノブ** フィルター幅 (バンドパスおよびノッチフィルター) またはフィルタースロープ (ハイパスおよびローパスフィルター) を制御します。
- ⑱ **FILTER (フィルター)** 4 種類のフィルターより選択します：LO (ローパス)、BAND (バンドパス)、NOTCH (ノッチ) および HI (ハイパス)。

エンベロープジェネレーター部

このセクションには 2 つのサブセクションがあります：VCA ENV. (VCA エンベロープ：オシレーターのエンベロープを調節します) および CONTROL ENV. (コントロールエンベロープ：フィルターエンベロープを制御します)。

VCA エンベロープ

- ⑲ **ATTACK (アタック)** ノートの出だしの速さを制御するノブです。
- ⑳ **DECAY (ディケイ)** 鍵盤上に指を置いた状態においてノートの音量が減衰するスピードおよび、指を鍵盤から離れた後のノートのフェードアウトを制御するノブです。
- ㉑ **SUSTAIN LEVEL/REPEAT (サステインレベル/リピート)** 指を鍵盤に置いた状態における、ノートのベースライン音量を制御するノブです。反時計回り方向いっばいの位置に設定するとノートがリピートし、ATTACK (アタック) および DECAY (ディケイ) ノブでスピードとリピートを制御します。
- ㉒ **HOLD (ホールド)** スイッチを有効にすると、エンベロープのポイントでノートを無期限にサステインします。

コントロールエンベロープ

- ㉓ **ATTACK (アタック)** フィルターの出だしのスピードを制御するノブです。
- ㉔ **DECAY (ディケイ)** フィルターカットオフ周波数の減衰の速さを制御するノブです。
- ㉕ **DELAY/REPEAT (ディレイ/リピート)** フィルターアタックの出だしを最大 1 秒遅延させるノブです。

出力部

- ㉖ **VOLUME (音量)** MAIN AUDIO (メインオーディオ) および MAIN OUT (メインアウト) ジャックの最終的な音量を制御します。
- ㉗ **PHONES (ヘッドフォン)** ノブのすぐ上にある 1/8 インチ TRS ジャックに接続したヘッドフォンの音量を制御します。

MIDI Section

- ㉘ **USB ポート** USB B タイプ接続を通じて、コンピュータと接続する端子です。WASP DELUXE は、MIDI 入出力に対応したクラスコンプライアント USB MIDI 機器として表示されます。
- **USB MIDI 入力** - アプリケーションからの MIDI データを受信します。
- **USB MIDI 出力** - アプリケーションへ MIDI データを送信します。
- ㉙ **MIDI IN (MIDI 入力)** 外部ソースからの MIDI データを受信する 5 ピン DIN コネクタです。一般的に、MIDI キーボード、外部ハードウェアシーケンサー、MIDI インターフェイス装備のコンピュータ等を接続します。
- ㉚ **MIDI THRU (MIDI スルー)** 5 ピン DIN ジャックを使用し、MIDI 入力で受信した MIDI データをパススルーします。このデータは一般的に他の WASP DELUXE シンセサイザーに送信してポリチェーンをおこなったり、異なる MIDI チャンネルに割り当てたドラムマシンに送信したりします。
- ㉛ **EXT. AUDIO (外部オーディオ入力)** 外部ラインレベル オーディオソースを接続する 3.5 mm 入力端子です。何も接続しない場合は、内蔵ノイズジェネレーターをモジュレーションソースとして使用できます。
- ㉜ **POWER LED (電源 LED)** ユニットがオンになっている間点灯します。
- ㉝ **MAIN AUDIO (メインオーディオ)** 3.5 mm TRS 接続を通じて、メインオーディオ出力をアウトプットします。一般的に WASP DELUXE のオーディオ入力端子、もしくは別のモジュラーシンセサイザー機器の入力端子に接続します。ユーロラックで WASP DELUXE をご使用の場合は、背面パネルの出力コネクタを使用しないため、この端子がメイン出力となります。

WASP DELUXE コントロール

背面パネル

- 34 MAIN OUT (メイン出力)** 次のような、お使いの外部機材の入力端子と接続する、 $\frac{1}{4}$ インチ TRS 出力です (これらはモノラル端子 2 つで、L/R ではありません) :
- **LOW (ロー)** - インストゥルメントレベルのモノラル出力です。ギターアンプリファイヤーやミキサー等の、インストゥルメントレベル入力に接続します。
 - **HIGH (ハイ)** - ラインレベルのモノラル出力です。ミキサー、キーボードアンプリファイヤー、パワードスピーカー等のラインレベル入力に接続します。
- 35 MIDI CHANNEL (MIDI チャンネル)** 4 つのスイッチで、1~16 までの MIDI 番号を設定します (下の表をご参照ください)。MIDI チャンネルは、本マニュアル後半の MIDI SysEX 表にも記載されているように、MIDI SysEX コマンドでも変更できます。(この方法は、これらのスイッチにアクセスできない、WASP DELUXE の Eurorack へのマウント時に使用されます)。

電源部

- 36 POWER (電源スイッチ)** ユニットのオン/オフを切り替えます。
- 37 DC INPUT (DC入力)** 付属の 12V DC 電源アダプターを接続します。電源アダプターは、100V~240V、50 Hz/60 Hz に対応した AC コンセントに接続します。必ず付属のアダプターのみをご使用ください。

WASP DELUXE はじめに

ステップ 3: はじめに

概要

この“スタートアップガイド”では、WASP DELUXE アナログシンセサイザーのセットアップ方法、およびその機能を簡潔にご紹介します。

接続

ご使用のシステムへWASP DELUXE の接続に関しては、本書の前半にある接続ガイド図をご参照ください。

ソフトウェア セットアップ

WASP DELUXE は USB クラスコンプライアントの MIDI 機器ですので、ドライバーのインストールは不要です。Windows、Android、および MacOS 機器で WASP DELUXE を使用する場合、追加のドライバーは不要です。

ハードウェア セットアップ

お使いのシステムの接続をすべて完了します。背面パネルの MIDI スイッチを使用し、お使いのシステムにおける、WASP DELUXE の MIDI チャンネルを設定します。外部 MIDI キーボードを、直接 WASP DELUXE の「MIDI IN」、5 ピン DIN タイプ入力端子に接続します。

必ず付属の電源アダプターを使用して、WASP DELUXE に電源を供給します。お使いのサウンドシステムの電源がオフになっているのを確認します。WASP DELUXE 背面パネルの電源スイッチをオンにします。

ウォームアップ時間

レコーディングまたはライブパフォーマンスを開始する前に、WASP DELUXE に 15 分以上のウォームアップ時間を確保していただくことを推奨いたします (寒い場所から運び込んだ場合は、ウォームアップ時間をさらに延長してください)。上記の実践により、精密アナログ回路が通常動作温度に達する時間を確保でき、正確なパフォーマンスを発揮できます。

オシレーター部およびミックスコントロール

WASP DELUXE には 2 つのオシレーター、内蔵ノイズジェネレーター、および外部ソース入力があります。

MIX コントロールでは、各ソースの音量を調節し、全体的なミックスを作成します。まず、ほかのソースを完全に下げ、Oscillator 1 の音量コントロールを調節します。

ほかのオシレーターやノイズのレベルを上げ、音量コントロールを調節してミックスを作成します。

オシレーター部では、オシレーターの FT (フット) ノブを調節すると、さまざまなオクターブのサウンドが聴こえます。WAVEFORM (波形) コントロールを調節して、違いを聴き比べてください。

コントロール オシレーター部

FREQ. (周波数) と PITCH MOD. (ピッチモジュレーション) コントロールを操作し、オシレーターのスピードやピッチへの作用をお聴きください。コントロールオシレーターの 6 ウェイ 波形スイッチを使用して、異なるコントロール波形を適用し、サウンドへの作用をお聴きください。

フィルターアンドコントロール エンベローブ部

ローパス、バンドパス、ノッチおよびハイパスフィルターを切り替え、FREQ. (周波数) ノブでカットオフ周波数を操作してみてください。Q ノブで、フィルターの曲線やスローブをさまざまにお試しください。

CONTROL ENV. (コントロールエンベローブ) コントロールは、フィルターを制御します。Attack (アタック)、Decay (ディケイ) および Delay (ディレイ) コントロールを操作して、これらのコントロール類がフィルターサウンドに及ぼす作用をお聴きください。

FILTER CONTROL (フィルターコントロール) ノブをプラス方向 (+) と マイナス方向 (-) にさまざまに操作してご覧になり、コントロールエンベローブの上昇/下降をいろいろに組み合わせて、オシレーターとフィルターにあらわれる作用をお聴きください。

WASP DELUXE はじめに

エンベロープジェネレーター部

このセクションでは、Attack (アタック)、Decay (ディケイ)、および Sustain (サステイン) を調節します；ノートのプレイ中、上記の設定は全体のレベルに経時的に作用します。ラウドネスディケイスイッチは、ノートリリース後のレベルの減衰に作用します。

EURORACK

The WASP DELUXE synthesizer can be taken out of its factory chassis and fitted into a standard Eurorack case (not supplied). Please see the details shown later in this manual.

ファームウェアアップデート

当社ウェブサイト behringer.com を定期的にご覧になり、WASP DELUXE シンセサイザーのファームウェアアップデートの有無をご確認ください。ファームウェアファイルはコンピューターへダウンロードおよび保存してから、WASP DELUXE のアップデートにご使用ください。ファームウェアのアップデート手順には、指示が詳しく表示されます。

WASP DELUXE System Exclusive Commands

Some parameters in the WASP DELUXE synthesizer can be changed using MIDI system exclusive (SysEx) commands.

A MIDI utility such as the popular MIDI OX can be used to send the SysEx command data string to the WASP DELUXE using the USB MIDI connection between a host computer and the WASP DELUXE.

SysEx Data Format

The following data format is used when creating a SysEx message (with the data beginning with F0 and ending with F7).

F0 00 20 32 aa bb cc dd ee ff F7

The various items in this SysEx data string are described below:

Item	Description
00 20 32	Manufacturer SysEx ID number (Behringer GmbH)
aa	Reserved
bb	Device ID: 00-0xF (must match hardware device ID), or 7F to address all devices. Note: This is the same as the Poly Chain ID. It is not the MIDI Channel
cc	Main parameter number (see Command Table below)
dd	Sub parameter number (see Command Table below)
ee	Parameter value MSB (will be zero unless the parameter value is greater than 127)
ff	Parameter value LSB (Range is 0 to 127) (see Command Table below)

Command Table

	Status	Second	Third	Parameter	Description
Channel Message	8n	kk	vv	[0,7F]	Note Off
	9n	kk	vv	[0,7F]	Note Off
	Bn	7B	—	—	All Notes Off
SyRT	F8	—	—	—	Timing Clock
	FA	—	—	—	Start
	FB	—	—	—	Continue
	FC	—	—	—	Stop

Examples

Function	Command ⁽¹⁾
Nonte on	90 3C 64
Nonte off	80 3C 40
All notes off	B0 7B

Note: 1, MIDI input channel 1.

WASP DELUXE System Exclusive Commands

***Note:** If you use SysEx instead of the recommended A-440 method to turn on the Poly Chain, then the Poly Chain Device ID of other units in the chain is not set automatically. You have to use SysEx to set the Poly Chain ID of the first WASP DELUXE to Device ID=0, the second WASP DELUXE to ID=1, the third WASP DELUXE to ID=3 and so on. All WASP DELUXE units must have the same MIDI channel.

Retriggering Style

These examples show the difference between the old and new retriggering styles

Example	Old style (v1.0.5)	New style (v1.0.6)
Press and hold note A. Note A is playing. Then press and hold note B. Note B is playing (A stop). Release note A.	Retrigger	No Retrigger
Press and hold note A. Note A is playing. Then press and hold note B. Note B is playing (A stop). Release note B.	Retrigger	Retrigger

Poly Chain Style

These two tables show the difference between old and new poly chain style.

TABLE OF NOTE RESPONSE -- Old poly chain style

Poly chain Device no.	How many notes are playing							
	0	1	2	3	4	5	6	7
1	Off	Note1	Note1	Note1	Note1	Note1	Note1	Note1
2	Off	Note1	Note2	Note2	Note2	Note2	Note2	Note2
3	Off	Note1	Note1	Note3	Note3	Note3	Note3	Note3
4	Off	Note1	Note1	Note1	Note4	Note4	Note4	Note4
5	Off	Note1	Note1	Note1	Note1	Note5	Note5	Note5

TABLE OF NOTE RESPONSE -- New poly chain style

Poly chain Device no.	How many notes are playing							
	0	1	2	3	4	5	6	7
1	Off	Note1	Note1	Note1	Note1	Note1	Note1	Note1
2	Off	Off	Note2	Note2	Note2	Note2	Note2	Note2
3	Off	Off	Off	Note3	Note3	Note3	Note3	Note3
4	Off	Off	Off	Off	Note4	Note4	Note4	Note4
5	Off	Off	Off	Off	Off	Note5	Note5	Note5

Note: Turning on the Poly Chain will affect the note priority function

Command Examples

Note: All command parameters should be in hexadecimal format.

Function	SysEX Command String
Set MIDI Channel to 13	F0 00 20 32 00 7F 0A 00 00 0C F7
Set Key Priority to last	F0 00 20 32 00 7F 0A 01 00 02 F7
Turn on Multi Trigger (1.05 style)	F0 00 20 32 00 7F 0A 02 00 01 F7
Set Pitch Bend semitone to 11	F0 00 20 32 00 7F 0A 03 00 0B F7
Set MIDI IN Transpose to +8	F0 00 20 32 00 7F 0A 06 00 14 F7
Set Note C5 as Zero Volts	F0 00 20 32 00 7F 0A 07 00 48 F7
Turn on Poly Chain	F0 00 20 32 00 7F 0A 08 00 01 F7
Set Device ID to 5	F0 00 20 32 00 7F 0A 09 00 05 F7
Disable MIDI Channel Switches	F0 00 20 32 00 7F 0A 0A 00 01 F7
Set Modulation Curve to Medium	F0 00 20 32 00 7F 0A 0B 00 01 F7
Make pitch bend range effective	F0 00 20 32 00 7F 0A 0C 00 01 F7
Set poly chain style to old style	F0 00 20 32 00 7F 0A 0D 00 01 F7

Note: A decimal to hex conversion table is shown below. If you are using the MIDI Transpose command, then the 3rd column shows the MIDI IN Transpose that corresponds to each data value. For example, if you wanted a transpose of +8 as shown in the table above, then the data sent is 14 (hex).

Value	Value (hex)	MIDI Transpose
0	0	-12
1	1	-11
2	2	-10
3	3	-9
4	4	-8
5	5	-7
6	6	-6
7	7	-5
8	8	-4
9	9	-3
10	A	-2
11	B	-1
12	C	0
13	D	1
14	E	2
15	F	3
16	10	4
17	11	5
18	12	6
19	13	7
20	14	8
21	15	9
22	16	10
23	17	11
24	18	12

WASP DELUXE Eurorack Installation

The WASP DELUXE synthesizer can be removed from its factory chassis and installed into a standard Eurorack chassis (not supplied). The module width is 70HP.

We recommend that this procedure is undertaken only by experienced service technicians, to prevent personal injury, or damage to the unit.

The Eurorack case will need its own suitable power supply unit to power the WASP DELUXE synthesizer.

A 10-pin connector on the rear of the main PCB of the WASP DELUXE allows the +12 VDC power supply connection to be made. A 10-pin to 16-pin adapter ribbon cable is supplied to connect to your power supply.



Before proceeding, make sure that your power supply is capable of supplying +12 VDC, 1 Amp.

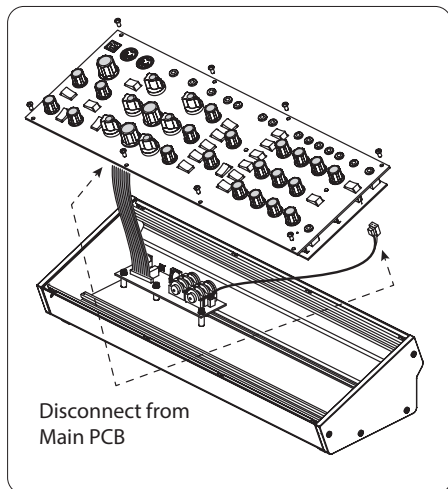


Make sure that the connections using the supplied adapter cable will supply the ground and power to the correct pins of X23.

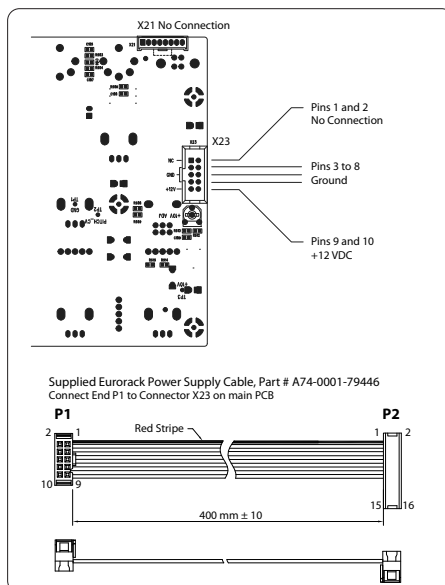
Procedure

Follow all steps in the order in which they are presented.

1. Disconnect the power cord and all other connections to the WASP DELUXE.
2. Undo the 8 screws on the top panel as shown. There is no need to undo any other screws.



3. Disconnect the two cables from the lower side of the main PCB of the WASP DELUXE, and remove the assembly from the chassis.
4. Store the chassis assembly and the power supply adaptor in a dry safe place.
5. Securely connect the 10-pin end P1 of the supplied adapter cable to connector X23 on the Main PCB of the WASP DELUXE.



6. Make sure your power supply is turned off and disconnected from the AC mains.
7. Make sure that your power supply will supply the following to the pins of connector X23, as shown in the diagram above:

Pins	Connection
1 and 2	No Connection
3 to 8	Ground
9 and 10	+12 VDC

8. Securely connect the 16-pin end P2 of the supplied adapter cable to your power supply, and double check all connections are correct.
9. Securely install the WASP DELUXE Synthesizer into your Eurorack, using 8 screws in the front panel.
10. Perform a full test and safety test before using the WASP DELUXE.
11. The 3.5 mm MAIN OUT connector on the top panel is used instead of the .” rear outputs which are no longer present.

Setting the MIDI Channel

Once installed in a Eurorack, the MIDI channel number is automatically set to channel 1 (as the MIDI switches are no longer present.)

The MIDI channel can be changed using MIDI OX or a similar MIDI utility on your computer to send MIDI SysEx commands directly to the WASP DELUXE via the USB MIDI connection. Here is a brief guide to the procedure (see the MIDI SysEx pages in this manual for the actual SysEx codes sent to the WASP DELUXE):

1. Disable the MIDI Channel Switches by sending the appropriate SysEx command.
2. Change the MIDI Channel by sending the appropriate SysEx command.

技術仕様

シンセサイザーアーキテクチャ	
声の数	モノフォニック
タイプ	アナログ
発振器	2つのデジタル制御オシレーター
LF0	1 (0.5 Hz~100 Hz)
VCF	1つの切り替え可能な Lo、Band、Notch、Hi
封筒	VCA、VCF
接続性	
MIDI イン / スルー	5ピン DIN / 16 チャンネル
USB (MIDI)	USB 2.0、タイプ B
メインアウト (高)	1 x 1/4" TS、不平衡、最大 0 dBu
高出力インピーダンス	1.3 kΩ
メインアウト (低)	1 x 1/4" TS、不平衡、高出力より27 dB 低い
低出力インピーダンス	1 kΩ
メインオーディオ出力	3.5 mm TRS、アンバランス、最大 0 dBu
電話	3.5 mm TRS、アンバランス、 最大 -2 dBu @32 Ω
電話の出力インピーダンス	25 Ω
USB	
タイプ	クラス準拠の USB2.0、タイプ B
サポートされているオペレーティングシステム	WindowsXP 以降 Mac OS X10.6.8 以降
電力要件	
外部電源アダプター	12 V DC 1000 mA
消費電力	2 W
環境	
動作温度範囲	5°C– 45°C (41°F–113°F)
物理的	
寸法 (H x W x D)	87 x 374 x 136 mm (3.4 x 14.7 x 5.4")
モジュール幅	70 HP
重量	1.6 kg (3.5 ポンド)
積み込み重量	2.5 kg (5.5 ポンド)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You